

インクルーシブの窓

令和7年4月 富山県教育委員会 教育みらい室 特別支援教育課



インクルコンパスを活用しましょう！



インクルーシブ教育システムを推進するための学校等の取組を支援するツールとして、インクル COMPASS（コンパス）があります。すでに、研修等で触れたり、校内で活用したりされた方も多いと思います。

COMPASS は、「Components for Promoting inclusive Education System and Assisting Proactive Practices」という英語表記の頭字語で、「羅針盤」の意味が込められています。

<目的>

- ① インクルーシブ教育システム構築を一層推進するために、自校(園)の現在の取組状況を把握し、今後取り組むべきことを検討する際のヒントを得る。
- ② 現状の取組を振り返ることで、自校(園)の強みや課題を確認する。

<観点>

1. 体制整備
2. 施設・設備
3. 教育課程
4. 指導体制
5. 交流及び共同学習
6. 移行支援
7. 研修

活用の手順 1

7つの観点の各項目について、管理職や特別支援教育コーディネーターなど複数名で学校の取組状況をチェックし、今後の取組の方向性を検討します。ただし、学校等の取組を比較するためのものではありません。また、学校等で必要な取組の全てを網羅するものではないことにも注意しましょう。

活用の手順 2

チェックした結果を基に、ナビゲーションシートを使って全体の取組状況を俯瞰し、強みや課題を可視化します。重点的取組の方策案が検討しやすくなります。

活用の手順 3

実施結果を学校全体で共有したり、チームで検討したりして、具体的な取組につなげていく話し合いを行います。無理のない計画を立てることが大切です。

ダウンロードはこちら

インクルCOMPASS／ナビゲーションシート

検索

<引用>

『ここにヒントがある！インクルーシブ教育システムを進める10の実践「インクルCOMPASS」で強みや課題をみつこう』独立行政法人国立特別支援教育総合研究所、ジアース教育新社